

## 平成 31 年度京都府公立高等学校入学者選抜中期選抜における学力検査の出題について

(その1)

### <出題方針>

中学校学習指導要領に基づき、各教科とも中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置くとともに、知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が的確に把握できる出題とする。

### <特徴>

基礎・基本の定着、論理的な思考力や判断力・表現力をみる

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着をみるとともに、語句、表現及び図示などの記述による解答を求める問いも設け、生徒が身に付けた様々な知識・技能等を活用して総合的に考え、判断・解決できるかどうかをみた。

### <各教科の特色と傾向>

#### 【国 語】

- 1 大問一では、鎌倉時代の文章を題材として、内容を読み取る力をみるとともに、歴史的仮名遣いについて問い、古典を理解するための基礎が身に付いているかどうかをみた。

〔出典〕 「古今著聞集」(「新潮日本古典集成」新潮社 より)  
鎌倉時代に編纂された説話集。編者は橘 成季。

本文は、弓の名手であった、ある武士に関する逸話である。本文の内容を読み取ることで、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典への興味・関心を深めることを期待する。

- 2 大問二では、筆者の論理の展開をとらえて内容を理解する力をみるとともに、言葉の特徴やきまりに関する事項、漢字に関する事項、書写に関する事項についての理解をみた。また、「話すこと・聞くこと」に関連する問いを設けた。

〔出典〕 「火の科学」 西野 順也 帝京平成大学教授 (築地書館)

本文は、人類の発展と火との関わりについて書かれた評論である。本文の内容を的確に読み取ることで、人間、社会、自然などについての考えを深める契機となることを期待する。

#### 【社 会】

- 1 基礎的・基本的な内容の知識、概念や技能を習得しているかどうかをみるとともに、それらを活用して、論理的に思考する力、公正に判断する力及び適切に表現する力が身に付いているかどうかをみた。また、地理的事象、歴史的事象、現在の社会的事象を有機的に関連づけ、多面的・多角的に考察する力をみるため、4つの大問すべてを地理的分野・歴史的分野・公民的分野の融合問題とした。
- 2 資料から読み取ったことを適切に表現する問い(大問1(5))を設けた。また、グローバル化が経済や社会、生活に及ぼす影響について考察する問い(大問4(2))や、各時代の様子をとらえて時代の流れを理解しているかどうかをみる問いを設けた。さらに、身近な地域の歴史的建造物を題材とする問題(大問3)を設け、地域の特色や歴史的事象、現在の社会的事象に対する関心を高めるきっかけとなるように工夫した。

#### 【数 学】

- 1 数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得できているかどうかをみるとともに、それらを活用して様々な事象を数理的にとらえ、見通しをもって論理的に考察する能力をみるよう工夫した。
- 2 通学時間の調査に関する問題(大問2)については、資料を整理したり読み取ったりする能力をみた。また、自転車の制動距離に関する問題(大問4)については、関数的な見方や考え方をを用いて事象をとらえる能力をみた。

## 平成 31 年度京都府公立高等学校入学者選抜中期選抜における学力検査の出題について

(その2)

### <出題方針>

中学校学習指導要領に基づき、各教科とも中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置くとともに、知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が的確に把握できる出題とする。

### <特徴>

**基礎・基本の定着、論理的な思考力や判断力・表現力をみる**

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着をみるとともに、語句、表現及び図示などの記述による解答を求める問いも設け、生徒が身に付けた様々な知識・技能等を活用して総合的に考え、判断・解決できるかどうかをみた。

### <各教科の特色と傾向>

#### 【理 科】

- 1 自然の事物・現象について、基本的な原理や法則を理解し、基礎的な知識を身に付けているかどうかをみた。また、観察や実験に関する問題については、得られた事実を客観的にとらえ、科学的な知識や概念を用いて合理的に判断する能力をみる出題となるよう工夫した。
- 2 地学的領域の問題では、惑星の見え方を太陽系の構造と関連づけてとらえ、適切に表現する力が身に付いているかどうかをみる問い（大問 2 (2)）を設けた。また、物理的領域の問題では、小球の運動と力学的エネルギーについて、実験の結果を分析して解釈する力が身に付いているかどうかをみる問い（大問 7 (2) (3)）を設けた。

#### 【英 語】

- 1 全体をとおして、英語でのコミュニケーション能力の基礎となる知識・技能を習得しているかどうかをみるとともに、それらを活用して思考・判断・表現する力が身に付いているかどうかをみた。
- 2 筆記問題では、まとまりのある文章と会話形式の文章から出題し、語句や文、文法などに関する知識が身に付いているかどうかをみるとともに、内容を正しく読み取る力をみた。発展途上国支援の方法について考えることを題材とした問題（大問 1）では、会話の流れに沿った表現を、本文の内容をもとに考える力をみる問いを設けた。また、レストランのメニューを題材とした会話文（大問 2）では、必要な情報を整理して思考・判断する力をみる問いを設けた。
- 3 リスニング問題では、会話を聞いて概要や要点を適切に聞き取り、正しく理解し、内容に関する質問に対して適切に応答する力が身に付いているかどうかをみた。